KBSラジオ×京都CF！

薫のちょっとカフェ、もっとカフェ

楽屋バナシ

Vol.4

KBSラジオの人気番組をオンエア後の楽屋バナシも交えてお届けするコーナー。オッサンの足をカフェに向けるべく、京都のいまどきなカフェを毎回ピックアップ。連載を読破したその時は、カフェ通の素敵なオジサマに変身か!?

笑福亭 晃瓶
笑福亭 鶴瓶のご番弟子で芸歴20年を数える大ベテラン。目指すは「おばちゃんの気持ちがよくわかる」落語家

中村薫
「天神祭りの御輿ギャル」という過去をもつ人気パーソナリティ。中学・高校教員免許を持つという知的な一面もアリ

「笑福亭 晃瓶のほっかほかラジオ」も番組スタート4月で7年目に突入！幅広いジャンルの話題を晃瓶＆薫のゴールデンコンビが楽しく分かりやすく毎朝お届け！まだ聴いたことがない人も、一度聴けばおのずと二人のペースにハマってしまう不思議な番組。

KBSラジオ1143KHz『笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ』（毎週月～木6:30～11:00 ）番組内コーナー「薫のちょっとカフェ、もっとカフェ」（毎月第1火10:05～）

今回は新京極にある「ニュートロン」。ここはビルの5階で見晴らしも良いし、新京極のアーケードを上から眺めることができるんですよ。

またまた横文字の店名やけど、どういう意味？

ええっと、「ニュートロン」っていうのは、中性子って意味らしいですよ。

それでどんなお店なん？

フードメニューはやパスタ類も充実してて本格的だし、アルコール類もあるんです。ここまでは前回まで紹介してきたカフェと同じだけど、ここには店内の奥にギャラリーがあるんです。

へぇ～、そこはどんな人が来てはるん？

おヒゲの人が多かったです。芸術家っぽい（笑）。

つけヒゲちゃうの？

違います！ あと今風のOLさんとか、まぁ男女半々ぐらいでしたよ。隣のお兄さんは美術手帖を読んでました。

なんかインテリな感じの人が多そうで行きづらいんちゃうか？

そんなことありません！ 色んなお客さんが来てはります！ 店内は南向きの窓で昼間はね、燦々と日差しが入ってきて明るい感じなのよ。

そっかぁ…、それはちょっと気持ち良さそうやなぁ。

そうでしょ？ でね、ここのカフェ奥のギャラリーでは、写真や絵画とか、京都を中心に関西の若手アーティストたちの作品が展示されてるのよ（※1）。

へぇ～、ほなカフェで気軽にアートが楽しめるってワケやな。

ええ。それと、カフェの壁には、色んなアーティストたちの作品ファイルもズラリと並んでるの（※2）。言わばここはアートの情報発信基地ってとこかも。

ナルホド。カフェもギャラリーも本格的にやってはるんやね。

そう、晃瓶さんもカフェでコーヒー片手にアートに触れてみたら？

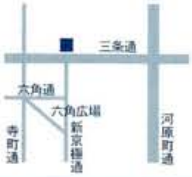
う～ん…、もうちょっとヒゲ生やしてからにするわ（笑）。

※1：店内奥のギャラリーは無料。カフェで注文しなくてもギャラリーだけの鑑賞もOK
※2：ニュートロンでは「アーティスト登録」というシステムがあり、参加アーティストの作品がファイリングされていて、自由に閲覧できる

今月の教訓

若手アーティストたちの作品を展示するなど、情報発信基地としての側面を持つカフェもある。

neutron
京都市中京区三条新京極突当
イシズミ三条ビル5F・B1F
☎075・211・4588
11:00～23:00（L.O.22:30）
無休



林的映画三昧

イラストと文 ハヤシチサコ

アメリカのあるハイスクールでの1日の物語である、「エレファント」と「ブレックファスト・クラブ」（以下BFC）には約20年間という時代差がある。「エレファント」の高校はとても整然として清潔感あふれる所だ。「その時」がくるまでは。私の思い描く理想的ハイスクール。「BFC」の5人は典型としての土曜登校で知り合う。環境や性格の異なる彼らが反発し衝突しつつ親しくなっていく青春映画。「エレファント」は「BFC」のような起↓結が明確にない。しかし「その時」は偶然にやってきたわけではない。この映画は私達に、今一度自分の頭を使って考えろといっているのだ、きっとそうだ。

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともアリ。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。